



# *Annual Report* **2019**

東京女子医科大学

令和元(2019)年度 女性医療人キャリア形成センター報告書



## ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学 理事長

岩本 絹子

平素より本学の活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。深く御礼申し上げます。また、令和2年(2020)3月頃から新型コロナウイルス感染症の国内感染者が急増しており、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた皆様方に謹んで哀悼の意を表するとともに、現在も罹患されておられる皆様方のご回復をお祈りし、心より御見舞申し上げます。そして、医療の最前線でご尽力されておられる医療従事者・関係各位の皆様方に心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、この度、令和元(2019)年度「女性医療人キャリア形成センター報告書」が完成いたしました。ぜひご一読いただき、本学の活動へのご理解をより一層深めていただき、今後とも変わらぬご指導ならびにご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

本学は、建学の精神のもと、女性医療人を育成し続けておりますが、女性活躍推進法が成立した現代においては、リーダー的役割を担う人材の輩出が望まれております。本学では令和2(2020)年3月現在、全学部の教授全体に占める女性教授の割合は28.1%になり、本学の果たす役割は非常に大きく、より一層重要な存在となっております。本学の卒業教育における人材育成の拠点である女性医療人キャリア形成センターにおいては、①ダイバーシティ研究環境整備、②研究力向上・リーダー育成、③上位職への積極的登用に取り組んでおり、本学における本事業の成果がより一層実り多いものとなり、女性医療人が生涯を通じて活躍し続けることができる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学 学長

丸 義朗

本センターの目的を達成するための数値目標は重要である。容易である単なる量の定量化の他に質の定量化への取り組みに期待する。医療人の社会的地位が低かったソ連の支配下にあったエストニアでは、1991独立時から現在まで70%以上の女性医師比率、また北欧諸国レベルの医療水準、を維持しているが専門性やリーダーシップの高さに欠ける(J Womens Health 23,927, 2014)。学術論文や医療の先進性のレベルはIF値や論文数、また学会における招待講演数や患者を含む一般国民に対する名医としての知名度などから定量化できる。本学の建学の精神の中の「人格を陶冶し」はどうか。コロナ感染症があっても我々医療人は対面が業務である。人への「説明」、人との「共鳴」・「信頼」など、AIが参入するSociety5.0において、AIが苦手とする人としての質指標の定量化プログラムの開発などにも期待したい。

## センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター  
センター長  
肥塚 直美

常務理事

学校法人東京女子医科大学は創立者吉岡彌生先生によって女子の医育機関として明治33年(1900年)に設立されました。本学の建学の精神は「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し、社会に活躍する女性医人を育成する」であり、本学の理念は「至誠と愛」です。この建学の精神と理念に則り、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師・看護師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し、社会に貢献する女性医療人を育成し、広く地域社会の発展に貢献してきました。

本学は文部科学省平成28年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、より一層、女性医療人の(1)ダイバーシティ研究環境整備(勤務環境改善、育児支援、介護支援)、(2)研究力向上・リーダー育成、(3)上位職への登用に向けて女性医療人キャリア形成センターを中心に取り組みを進め、成果を上げております。本センターには「女性医師・研究者支援部門」、「女性医師再研修部門」、「看護職キャリア開発支援部門」、「彌生塾(2020年度からは「女性医療人リーダー育成部門」)」のプロジェクト部門とこれら部門と有機的に連携する「ダイバーシティ環境整備事業推進室」を設置し多面的に活動しております。今後も勤務継続支援に加え、キャリア形成を通じてリーダーとなる人材を育成し、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。皆様のご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 副センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター  
副センター長  
齋藤 加代子

遺伝子医療センター ゲノム診療科 特任教授

「女性医療人キャリア形成センター」設立から3年が経過しました。文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の3年目の中間評価は「A」をいただき、肥塚直美センター長の下で、センターは本学の女性医療人のキャリア形成支援を牽引しております。当初、2020年に女性教授の割合を30%とするという202030の数値目標を掲げましたところ、ヒアリングの審査員からは「まさか」という声が挙がりました。しかし、2020年3月末時点で39名(28.1%)の女性教授となり、着実な成果を挙げております。令和元(2019)年は、教員評価制度の見直しとして、女性登用時実績を組み入れた教授・講座主任の評価がなされ、これは令和2年度には教員自己評価につながります。

向井千秋氏(東京理科大学)「仕事から学んだこと～医学・宇宙・教師～」の彌生塾講演会、大隅典子氏(東北大学)「無意識のバイアス」、大島武氏(東京工芸大)「スタッフを動かすコミュニケーション」のダイバーシティ講演会、と学外からの著名人による熱いご講演に、本学の教職員・学生は、さらなる意識改革がなされたと思います。下村裕見子事務長はじめ、女性医療人キャリア形成センター事務の皆様にご感謝申し上げます。東京女子医科大学における女性医療人のさらなる飛躍を推進するために、皆様のご支援をお願い申し上げます。

## 部門長あいさつ

ダイバーシティ  
環境整備事業推進室  
室長

本多 祥子

解剖学講座  
(神経分子形態学分野)  
准教授



2018年4月より前任の野原理子先生を引き継いでダイバーシティ環境整備事業推進室長を担当させていただいております。長年女子医大で基礎医学研究や教育に関わらせていただき、また自分自身も介護の苦労を経験した立場から、女性医療人の皆様が本学で常に楽しく快適に御自身の夢を追求し、それを形にできるよう、微力ながらお手伝いをさせていただきたいと考えております。推進室では特に勤務環境改善のプロジェクトを担当しておりますので、研究・教育や臨床の現場でがんばっておられる皆様のご意見やお力添えが何より大切と存じます。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

女性医療人  
リーダー育成部門  
部門長

内田 啓子

腎臓内科 教授



旧彌生塾は創設されて5年がたち、2020年度からは「女性医療人リーダー育成部門」と名称を変更し新スタートをきりました。名称はかわれどもこの部門の使命は彌生塾創設当初より何ひとつかわっておりません。所属や現職の垣根をこえ、医学部の女性教員および本学医学部卒業生がキャリアアップを目指し、リーダーとして社会に貢献する人材の育成に引き続き尽力してまいります。この5年間に多くの塾生が学内外のリーダーとなって卒業し、今度は運営側として協力してくれており、質の高いPDCAサイクルが回り出していると実感しています。多くの女性医師の参画をお待ちしています。

女性医師・研究者支援部門  
部門長

佐藤 麻子

臨床検査科 教授



女性医師・研究者支援部門では、子育て支援、勤務環境の改善、研究支援員制度、女子中高生の理系進路選択支援を行っております。子育て支援では、院内保育、病児保育の事業支援とともに「女子医大・東京医大ファミリーサポート」、また、サポーター対象の「子育て支援セミナー」を実施し、きめ細やかな支援を可能としています。勤務環境の改善は、短時間勤務制度を診療現場に導入し、「宮原敏基金」により、女性臨床系教員のキャリア形成支援を行っております。さらに、新しい研究支援員制度では、女性医師・研究者への研究の遂行を支援しています。今後も、皆様からのなご一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性医師再研修部門  
部門長

石黒 直子

医学部長  
皮膚科学講座  
教授・講座主任



本部門では、女性医師が種々の理由で離職された後の復職にあたりキャリアカウンセリングを行っております。出身大学に関わらず、臨床経験や現在の個人の状況などを把握するためのヒヤリングの場を設け、ご相談者の方向性を検討し、個々に合った研修や実習などをご提案し、復職支援を行っております。女性医師が20%を越えるようになった現在も、出産・育児などを契機に離職し、その能力を埋もれさせている方が多くおられます。離職中の女性医師の皆様にも、本部門で行っている柔軟なプロジェクトをご活用いただき、最終的には皆様がその力を最大限発揮し、社会貢献にもつながっていただけますよう橋渡しができればと考えております。

看護職  
キャリア開発支援部門  
部門長

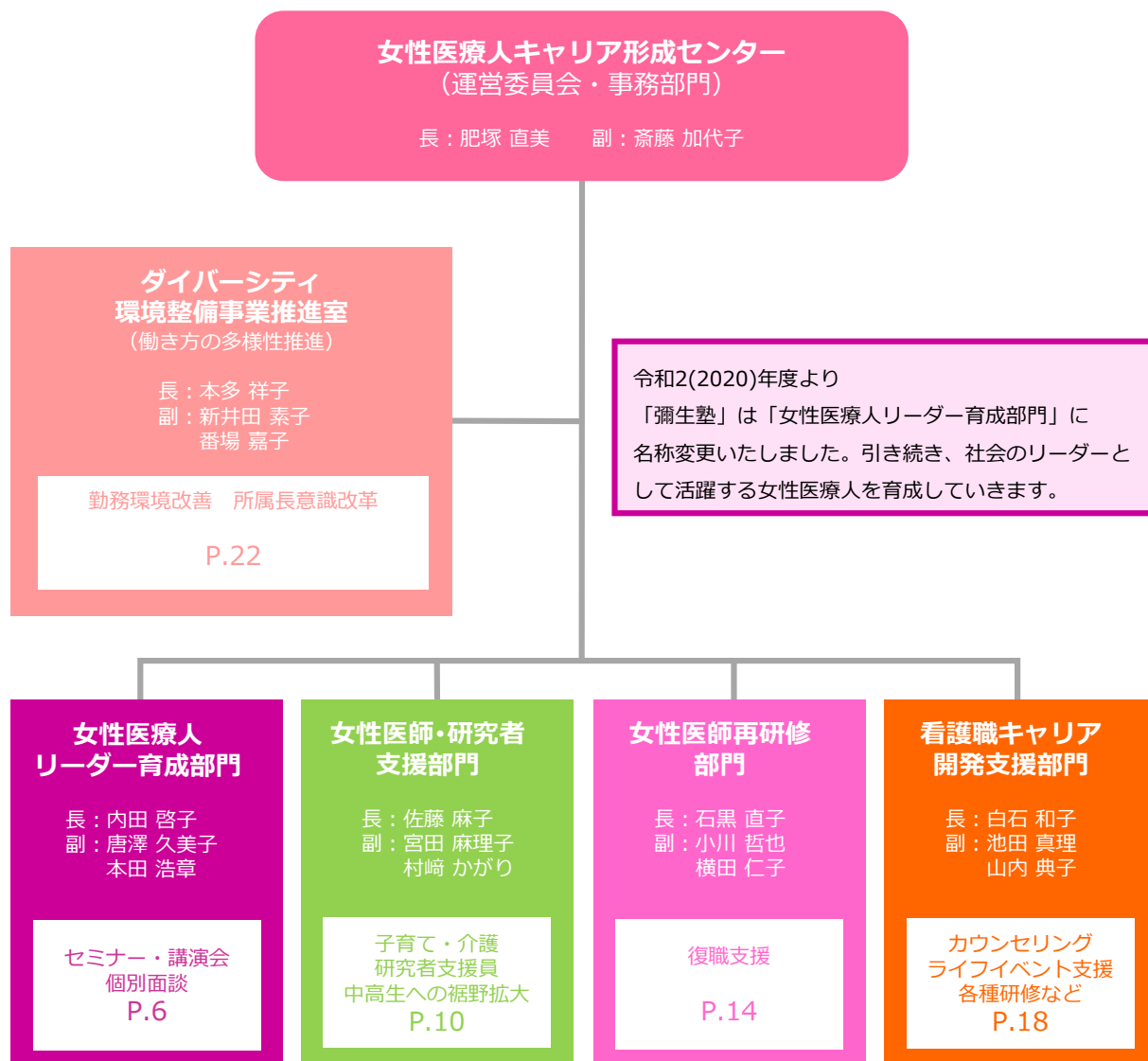
白石 和子

東京女子医科大学病院  
副院長・看護部長



本部門は2009年4月の設立から今年で12年目を迎えました。2016年からは「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」をスタートし、将来の看護管理者を育てる研修として外部からの受講生も受け入れています。臨床現場で働く看護職から、研究的な取組を望む声がたくさんありながらなかなか進まなかった仕組み作り、ようやく着手することができました。また、各部署で教育を担うクリニカルコーチについては、2019年度に新たに第7期生15名が誕生いたしました。このように、看護職キャリア開発支援部門の活動は、教育部門と臨床部門の看護職が協働しながら生涯にわたるキャリア教育を軌道に乗せつつ進化しています。

女性医療人キャリア形成センター組織図(2020年4月現在)



## 女性医療人キャリア形成センター運営委員(2020年4月現在)

※各部門の部門長と副部門長は左ページをご覧ください

### 女性医療人キャリア形成センター

女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
女性医師再研修部門長・医学部長	石黒 直子
看護職キャリア開発支援部門長 東京女子医科大学病院 副院長・看護部長	白石 和子
女性医療人リーダー育成部門長	内田 啓子
ダイバーシティ環境整備事業推進室長	本多 祥子
医療部門担当理事	田邊 一成
教育部門担当理事	丸 義朗
東京女子医科大学病院 診療部門担当副院長	新浪 博
看護学部長	小川 久貴子
経営統括部長	山崎 武夫

### 女性医師・研究者支援部門

生理学(分子細胞生理学分野)	教授・講座主任	三谷 昌平
小児科	教授・講座主任	永田 智
八千代医療センター消化器外科	教授	新井田 達雄
腎臓内科	教授	内田 啓子
東医療センター内科	教授	小川 哲也
看護学部	准教授	竹宮 孝子
解剖学(神経分子形態学)	准教授	本多 祥子
乳腺・内分泌外科	講師	堀内 喜代美
日本語	講師	辻村 貴子
化学	講師	佐藤 梓
経営統括部人事課	課長補佐	小谷 浩平

### 女性医療人リーダー育成部門

女性医療人キャリア形成センター	副センター長	斎藤 加代子
女性医師・研究者支援部門	部門長	佐藤 麻子
女性医師再研修部門	部門長	石黒 直子
看護職キャリア開発支援部門	部門長	白石 和子
東医療センター麻酔科	教授	小森 万希子
病理学(実験病理学分野)	教授・講座主任	小田 秀明
東医療センター眼科	教授	須藤 史子
麻酔科	教授・講座主任	長坂 安子
微生物学免疫学	教授・講座主任	柳澤 直子
解剖学(顕微解剖学・形態形成学)	教授	石津 綾子

### 看護職キャリア開発支援部門

看護部 副部長	出口 香緒利
看護部 副部長	内田 朋子
看護部 師長	中村 邦子
東医療センター看護部 副部長	坂田 裕子
東医療センター看護部 師長	大井 香奈美
東医療センター看護部 師長	江畑 典子
八千代医療センター看護部 部長代行	川崎 敬子
八千代医療センター看護部 師長	三好 麻実子
八千代医療センター看護部 看護師	近藤 直子
看護学部 講師	原 美鈴
看護学部 講師	嵐 弘美
看護学部 講師	吉田 千鶴
看護学部 助教	藤方 小弥香
看護専門学校 主事	坂本 倫美
経営統括部 部長(代理：人事課課長補佐)	山崎 武夫(小谷浩平)

### 女性医師再研修部門

消化器内科	教授	中村 真一
成人医学センター	教授	岩崎 直子
小児科	臨床教授	平澤 恭子
東医療センター耳鼻咽喉科	准教授	余田 敬子
眼科	准教授	篠崎 和美
成人医学センター	講師	松村 美由起
八千代医療センター 乳腺・内分泌外科	講師	地曳 典恵
産婦人科	講師	秋澤 叔香
皮膚科	講師	福屋 泰子

※順不同、敬称略

# 女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)



女性医療人リーダー育成部門は  
 本学の女性教員および卒業生を対象として  
 リーダーシップ育成・促進のための取組を行います。

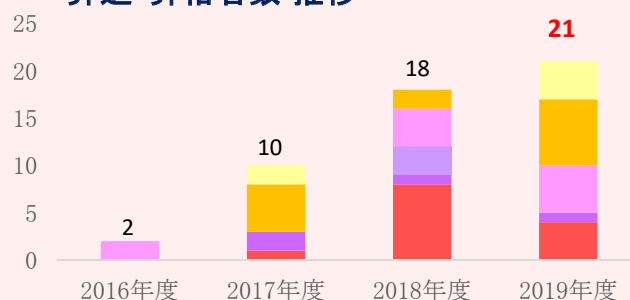
東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてよりよい社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための部門です。

## 令和1(2019)年度実績

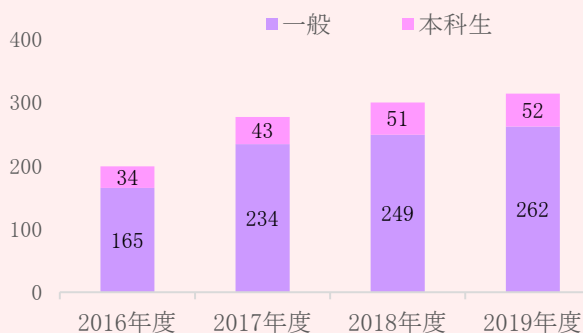
### 昇進・昇格 (21名)

- 教授 4名
- 特命担当教授 1名
- 臨床教授 0名
- 准教授 5名
- 講師 7名
- 准講師 4名

### 昇進・昇格者数 推移



### 登録者数



### 学内登録者状況

職位	在籍者数			学内女性医師登録状況		
	全体	女性	割合(女性)	女性医師数	登録女性医師数	割合
准教授	104	26	25%	26	24	92%
講師	155	49	31.6%	49	38	77.6%
准講師	74	24	32.4%	24	15	62.5%
准講師以上計	333	99	29.7%	99	77	77.8%
助教	955	400	41.9%	400	29	7.3%
合計	1288	499	38.7%	499	107	21.4%

### 個別面談実施

本科生 31名





# 女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)

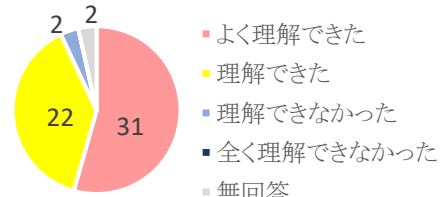
## 英語セミナー



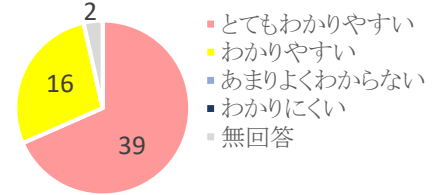
【講師】David Kipler氏  
カクタス・コミュニケーションズ(株)



### <講演内容について 参加者57名>



### <教え方について 参加者57名>



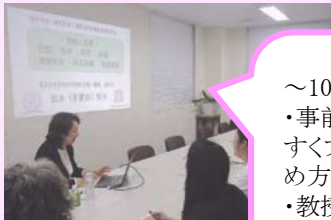
6/5	英語セミナー①	Vol.1 研究と出版における倫理	David先生 (カクタス)	12名
6/18	英語セミナー②	Vol.2 英語論文の表現・ サイエンスライティングにおける文法構造	David先生 (カクタス)	17名
7/5	英語セミナー③	Vol.3 研究論文の執筆と修正のコツと基本原則	David先生 (カクタス)	15名
9/6	英語セミナー④	Vol.4 効果的な英語プレゼンテーションワークショップ	David先生 (カクタス)	13名
校正費用半額補助			カクタス・コミュニケーションズ	(5名)
参加者数				<b>57名</b>

#### ～参加者アンケート抜粋～

- ・ジャーナルを出版する側、Authorshipの考え方についても実例を通して知れたのは有益だった。(vol.1より)
- ・自分が日常用いているsentenceのより良い書き方、直し方についてとてもよくわかった(vol.2より)
- ・Abstractのsimple化、Google scholarの使用方法についてよく分かった(vol.3より)
- ・プレゼンの仕方を教えてもらう機会はほとんどないため、有意義に楽しく聞くことができた(vol.4より)

## ピアラーニング

10/23	第12回ピアラーニング	多賀谷 悦子先生	呼吸器内科 教授・講座主任	6名
1/16	第13回ピアラーニング	増永 敦子先生	東医療センター病理診断科 教授	5名
参加者数				<b>11名</b>



～10/23 多賀谷 悦子先生ピア アンケートより(参考になったこと)～  
 ・事前教育・卒後(研修医、専攻医、大学院)教育をわけて、わかりやすくプレゼンテーションするという。ご本人の臨床・基礎研究の進め方。多くの先生を指導・育成をいかになされてきたか。(40代講師)  
 ・教授選考の流れやアピール方法についてよく理解できました。自身の業績のまとめ方の参考になりました。(40代准講師)



#### ～1/16 増永 敦子先生ピア アンケートより(参考になったこと)～

- ・参考になったこと: 今までの試みをなるべく数値化・グラフ化してすぐに判るような形で表すというプレゼン上の工夫。一つ核となる研究テーマを、なるべく早く設定してそれをできるだけ長期間継続する。(50代准教授)
- ・大学、法人、病院に対してどれだけ貢献できるか、フットワークの軽さ、人脈を広げることを強調されていたこと。評価する先生(大学・法人)の視点に立って多面的に自分の役割やキャリアを重ねていくことの重要性(学術的にも・経営視点でも)。(40代講師)

# 女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)

## キャリアセミナー・リーダーシップセミナー

7/19	彌生塾セミナー①	女性研究者応援 ～みんなちがってみんないい～	大隅 典子先生 (東北大学副学長)	17名
9/20	彌生塾セミナー② +クリニカルコーチ特別講演共催	コミュニケーションの再考 ～もっと分かり合うために～	大島 武先生 (東京工芸大学芸術学部教授)	123名
11/19	リーダーシップセミナー①	リーダーシップを発揮するためのタイムマネジメント	日本能率協会総合研究所	28名
12/7	懇談会 (リーダーシップセミナー②)	リーダーとは？	向井 千秋先生 (東京理科大学特任副学長)	13名
1/31	懇談会 (リーダーシップセミナー③)	リーダーシップを発揮するために	丸 義朗先生	21名

参加者数 **202名**



～7/19 大隅 典子先生セミナー アンケートより～  
 ・男性側のことも環境調整するという発想(40代講師)  
 ・ネットワークキングの大切さ。積極的に動いて、自らチャンスをつかむこと(30代助教)  
 ★セミナー内容が「興味深い」「理解できた」の両回答が**100%**



～11/19 タイムマネジメントセミナー アンケートより～  
 ・改善案の策定のための7つ道具がためになった(40代准教授)  
 ・仕事の優先順位、業務終了時点で到達しておきたい状態を整理しておくこと(40代講師)  
 ★セミナー内容が「理解できた」との回答が**100%**、  
 「期待に沿っていた」との回答が**約96%**



～12/7 向井 千秋先生セミナー アンケートより～  
 ・本当に一言一言重みがありとても感銘を受けました(40代助教)  
 ・様々なバックグラウンドを持つ人達の個性、能力を尊重する、一方期待しすぎないようにもする(40代講師)  
 ★セミナー内容が「とても良かった」との回答が**100%**



～9/20 大島 武先生セミナー アンケートより～  
 ・つつい忙しい中で忘れがちなことですが、基本を忘れずに活用していきたい(40代講師)  
 ・日常生活、日常業務にすぐに活用できそう(50代准教授)  
 ★セミナー内容が「興味深い」との回答が**96%**、  
 「理解できた」との回答が**97%**

～1/31 丸 義朗先生セミナー アンケートより～  
 ・判断を修正しなければならないことを学ぶ 一生涯教育、学び直しが必要と考えました(40代助教)  
 ・リーダーシップに求められる要素を示して頂けたのがよかったです(40代講師)  
 ★セミナー内容が「良かった」との回答が**95%**

## 研究力向上セミナー

10/29	研究力向上セミナー (彌生塾セミナー③)	臨床研究初学者のための統計の基本 ～医療系データの分析入門～	福島 教照先生	25名
-------	-------------------------	-----------------------------------	---------	-----



～10/29 福島 教照先生セミナー アンケートより～  
 ・非常に判り易かった 次のステップでの講義も是非うかがいたい(40代准教授)  
 ・多変量解析や生存分析の講義を次回聞きたいです(40代准講師)  
 ★セミナー内容が「理解できた」との回答が**87%**、「期待に沿っていた」との回答が**約91%**

# 女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)

## 彌生塾講演会

12/7

彌生塾講演会

仕事から学んだこと ～医師・宇宙飛行士・教師～

向井 千秋先生  
(東京理科大学特任副学長)

439名



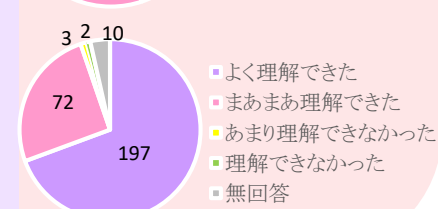
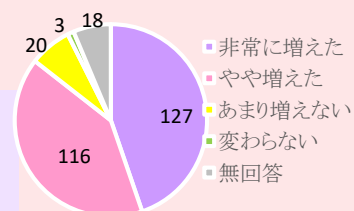
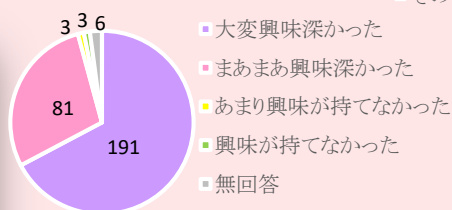
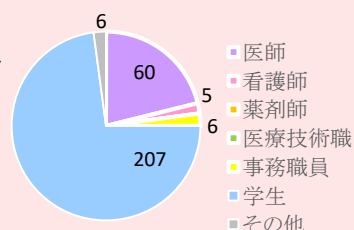
多様性から学ぶことの大切さを楽しいお話でご講演いただき大変勉強になりました。自分の研究や教育の仕事についてもヒントが得られて良かったです。

向井さんのパワフルな講演に元気を頂きました。どんなことでも夢をもつ、you can do it！説得力がありました。小さなことから一つ一つ頑張ろうと思いました。違いを入れ込んで自分のカテにする、なるほどなと思いました。

基調講演の内容が背中を押してくれるような内容であった。あきらめかけていた夢をまた叶えるために行動を起こそうと感じた。



### 参加者アンケート 回答者284名



医療はチームで行っていくため、向井先生のお話しされた、「Diversity Inclusion 違いから学び、違いを入れ込んでいくことが強いチームを作っていく」とのお言葉に感動しました。自分自身の出来ること、強みを把握し、協力してチームに貢献していきたいと思いました。

### ～名称変更のお知らせ～

女性医療人キャリア形成センターにおける『彌生塾』は、平成28(2016)年度よりスタートして以降、本学における女性医師のリーダー育成を目的とし、様々な取り組みを行ってまいりました。現在の登録者は300名を超え、毎年増加の一途をたどっています。令和2(2020)年度からは、社会で活躍する女性医療人のリーダー育成を目標に掲げ、より実践的な支援活動を行うため『女性医療人リーダー育成部門』と名称を変更し、生まれ変わることとなりました。

今後も皆さまの変わらぬご支援、ご協力のほど、何卒よろしく申し上げます。

# 女性医師・研究者支援部門



多くの指導的立場となる優れた女性医師・研究者を育成し、価値ある業績を積み重ね、将来の日本の医療に貢献することを目指して、「女性医師・研究者支援部門」を設立いたしました。子育てなどのライフイベントと診療・教育・研究を両立し、キャリア形成を継続できる環境を整備します。

## 女性医師研究者支援シンポジウム



佐藤 加代子 先生



若林 沙耶香 先生



小暮 朗子 先生



小濱 麻衣 先生



シンポジウム風景

新緑も眩しい6月1日(土)、臨床講堂 I に於きまして、女性医師・研究者支援シンポジウム 2019 が開催されました。

第一部では、三谷 昌平生理学教授・講座主任(分子細胞生理学分野)と村崎 かがり教授(予防医学科)の座長により、佐藤 加代子講師(現准教授/循環器内科学)と、若林 沙耶香講師(生理学(分子細胞生理学分野))による研究成果のご報告がありました。

本シンポジウムには『『至誠と愛』の実践学修』の授業の一環として医学部4年生も出席しており、研究報告の両者が子育て、または家族の介護と研究を堅実に両立されている姿を、ロールモデルとして強い関心を寄せておりました。また、恒例となった学生による研究プロジェクト報告では、岡田 みどり教授(化学)を座長に、本年も6名の医学部4年生が研究報告を行いました。

第二部では昨年度から続く企画として、ダイバーシティ環境整備事業推進室事業である「勤務環境改善プロジェクト」に関して小暮 朗子准講師(眼科学)と小濱 麻衣助教(形成外科学)に報告いただきました。

# 女性医師・研究者支援部門

## 研究支援員制度



本制度は妊娠・出産・育児・介護等のライフ・イベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった研究者や高いレベルの研究を行っている将来有望な女性研究者を支援するもので、「研究支援員」の配置により、研究の継続と躍進を支援し、本学に於ける研究活動の活性化を図ることを目的としています。

### 新井田 素子 先生

- 研究課題** 変性脳疾患におけるグリア細胞機能の研究
- 最終学歴** 2004年3月東京女子医科大学 医学部 大学院医学研究科(病理学)
- 現職** 東京女子医科大学 医学部 病理学教室(神経病態科学分野) 講師

**研究内容** 私の研究との出会いは、臨床で経験した疾患の症状や原因の複雑さを実験病理学でそのメカニズムを明らかにしたいという思いからです。臨床で経験した疾患のもつ複雑さや多様性は、研究者としての発想につながることや、つい見逃してしまうような発見をもたらしてくれることを日々実感しております。

**支援内容** マウスのメンテナンスから遺伝子型の確認、細胞培養実験と解析として免疫染色やウェスタンブロットを行っていただきました。

**メッセージ** 子どもが2人いると、帰宅後は論文を読む時間すら作ることができません。本制度を利用させていただき、研究全体の構築作業や考察、学会準備、論文執筆の時間を作ることができました。そして、母親としての時間を同時に持つことができました。本当に感謝しております。



### 田中 紀奈 先生

- 研究課題** 本邦の血液疾患におけるKIR genotypeの意義の検討
- 最終学歴** 2010年3月東京女子医科大学 医学研究科博士課程 内科系専攻 血液内科学分野
- 現職** 東京女子医科大学病院 血液内科 助教

**研究内容** 基礎研究と臨床の近さが血液内科の魅力のひとつと考え、臨床での経験を積みつつ大学院で研究の基礎を学びました。現在はNK細胞の抗腫瘍免疫応答の調節機構の一つである Killer immunoglobulin-like receptor (KIR)の遺伝学的多型性に着目し、血液疾患の発症、治療反応、予後との関連を調べています。いつか臨床へ還元できるような研究をしていきたいと考えています。

**支援内容** 骨髄液・末梢血からのDNAの抽出, RT-PCR, 電気泳動, 結果の入力等

**メッセージ** 研究を進めたい気持ちがありつつも、忙しい臨床と家庭の時間的制約に悩んでいた中で、支援員の方に来ていただき本当にありがたかったです。支援員の方の仕事が滞らないようにという気持ちも後押しになって頑張ることができました。関係の皆様にご心より感謝申し上げます。



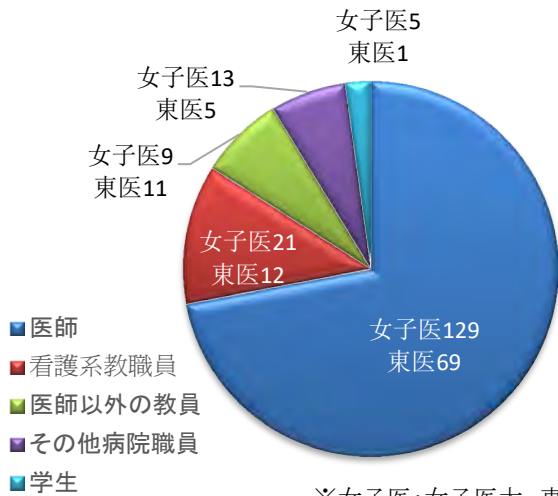
# 女性医師・研究者支援部門

女子医大・東京医大  
ファミリーサポート

子育て支援を受けたい人(依頼会員)と  
子育て支援をしたい人(提供会員)が会員登録をし、  
コーディネーターが調整をする会員制の相互援助活動です

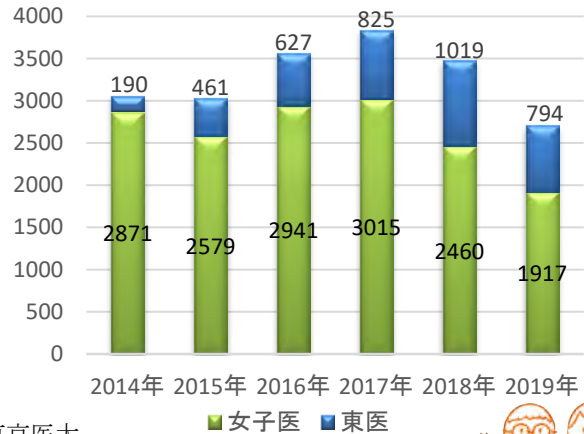


## 2019年度依頼会員275名の内訳



## 活動件数

### 活動件数の推移



## 活動実績



【保育サービス講習会】6月、11月に開催



【スキルアップ研修】8月、2月に開催



【全体交流会】10月26日に開催



【ファミサポ通信】5月、10月に発行

# 女性医師・研究者支援部門

## 女子中高生の理系進路選択支援プログラム



第1回  
親子でチャレンジ  
医療・看護体験

参加者：38名  
応募者：153名



第2回  
理系の学業、仕事を  
応援する試薬その工場  
を見てみよう！

参加者：18名  
応募者：58名



第3回  
私も未来の科学者

参加者：31名  
応募者：111名



第4回  
サイエンスカフェ

参加者：30名  
応募者：52名



第5回  
チームで支える  
病院の仕事

参加者：16名  
応募者：85名



第6回  
命を救う最先端研究  
を知ろう

参加者：31名  
応募者：80名



本学では院内保育所を設置し、教職員の勤務をサポートしています。(人事課管轄)

## 院内保育所



	昼間保育	延長保育	夜間保育	休日保育	病児保育
対象	2ヶ月～就学前の 待機児				原則、3ヶ月～ 就学前
時間	7:30-18:30	18:30-20:00	20:00-7:30	7:30-18:30	8:00-18:00
料金 (1時間)	200円 2年目以降300円	300円 2年目以降350円	400円	300円 2年目以降350円	500円

令和1(2019) 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昼間保育	85	43	87	121	131	116	160	184	183	151	182	200
延長保育	3	2	10	3	6	1	4	2	3	1	0	1
夜間保育	5	5	9	8	10	8	6	6	7	8	6	9
休日保育	10	7	3	2	2	1	1	9	0	3	2	4
病児保育	14	25	31	32	27	9	23	10	20	20	6	5

# 女性医師再研修部門



相談者の出身大学を問わず、全国から復職相談を受け付けており、キャリアカウンセリングやオーダーメイドの研修を実施することで女性医師の復職支援活動を行っています。

## 研修・相談の流れ

復職への様々な不安

ご相談ください

何かをしなければと  
思っているのだけど...

どこに相談すればよいか  
わからない

何から始めればよいか  
わからない



「研修ありき」ではなく、  
相談者の声に耳を傾け  
「これからの自分」  
をサポート



不安の解消  
+  
現場の勤を取り戻す

= 臨床現場復帰へ



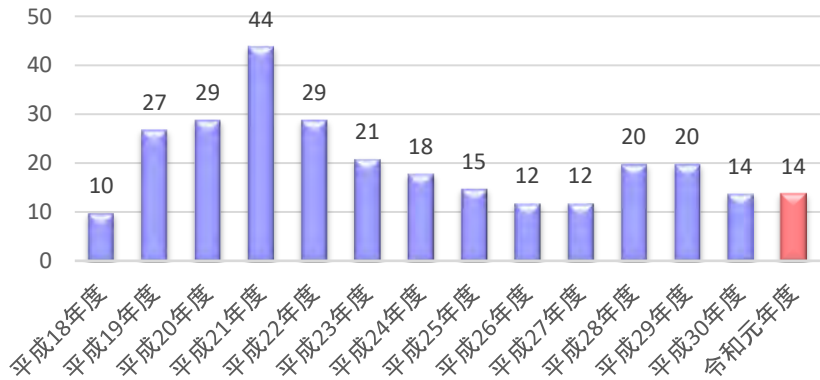
# 女性医師再研修部門

## これまでの実績

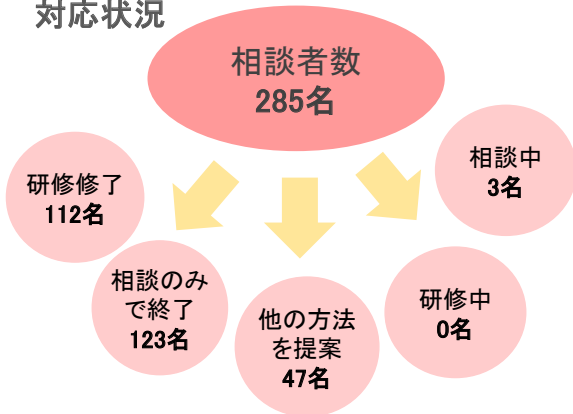
### 申請者状況

平成18(2006)年の設立以来、申請者は272名となりました。内訳は実際に研修をされた方が107名、研修を行わず働き方などを提案・紹介した方が46名、同じく研修を行わず相談のみで修了された方が116名となります。

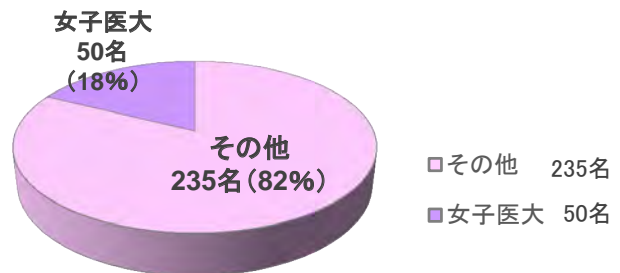
### 申請者数の推移



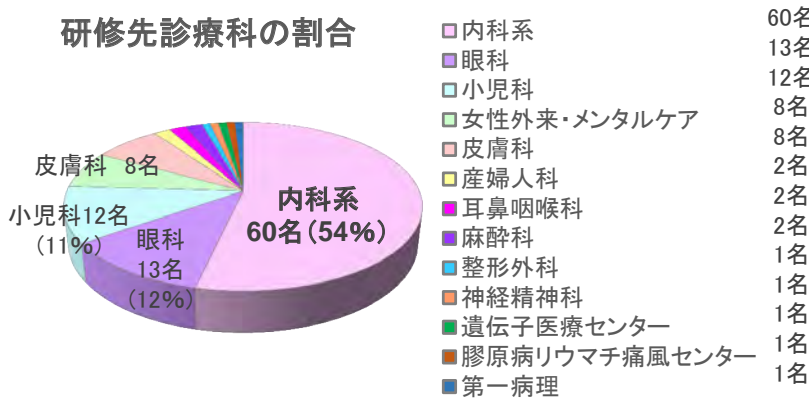
### 対応状況



### 出身大学



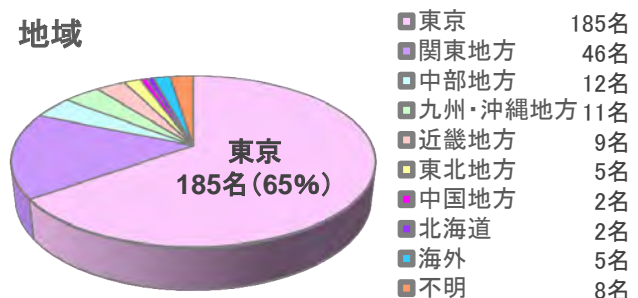
### 研修先診療科の割合



相談者の卒業大学、お住まいの地域などを問わず相談の受付を行っています。他大学卒業の方が8割を超え、全国からご相談を頂いております。



### 地域



※数値は2019年3月31現在

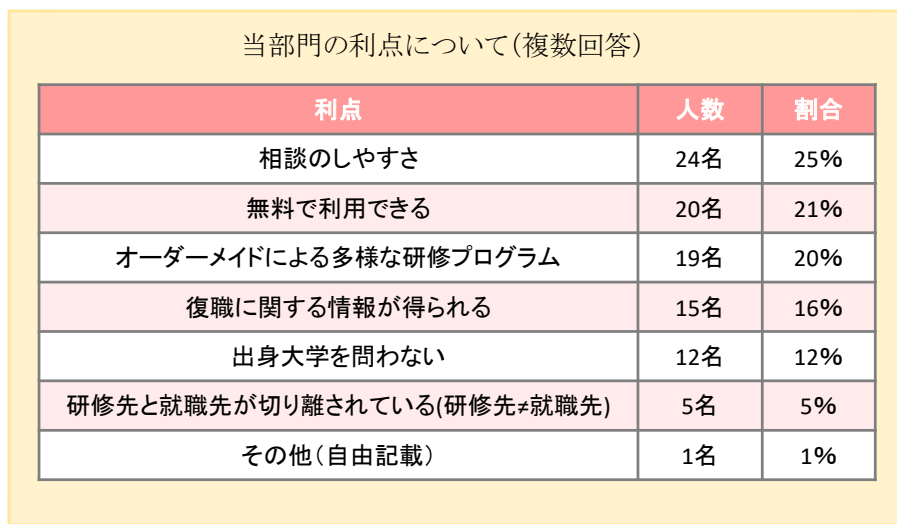
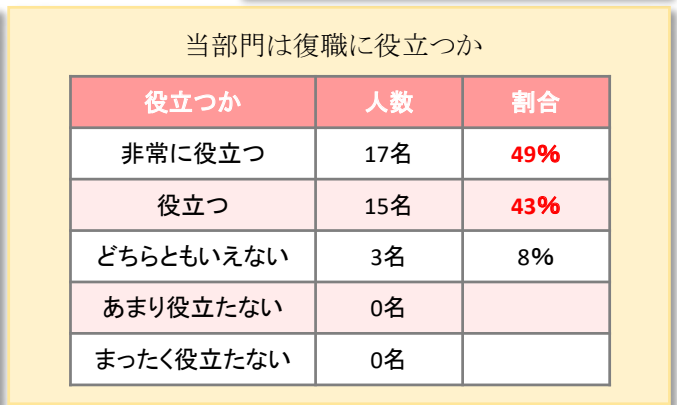
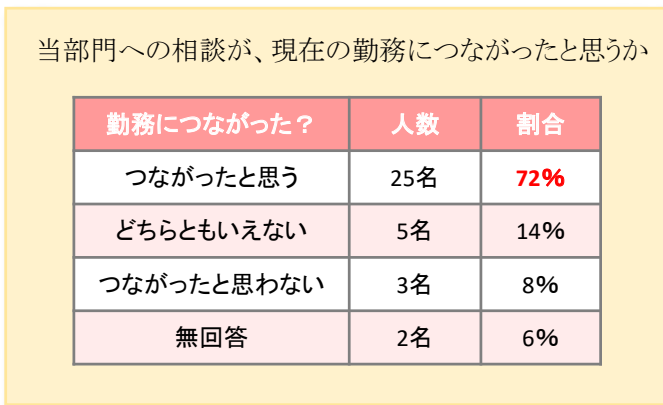
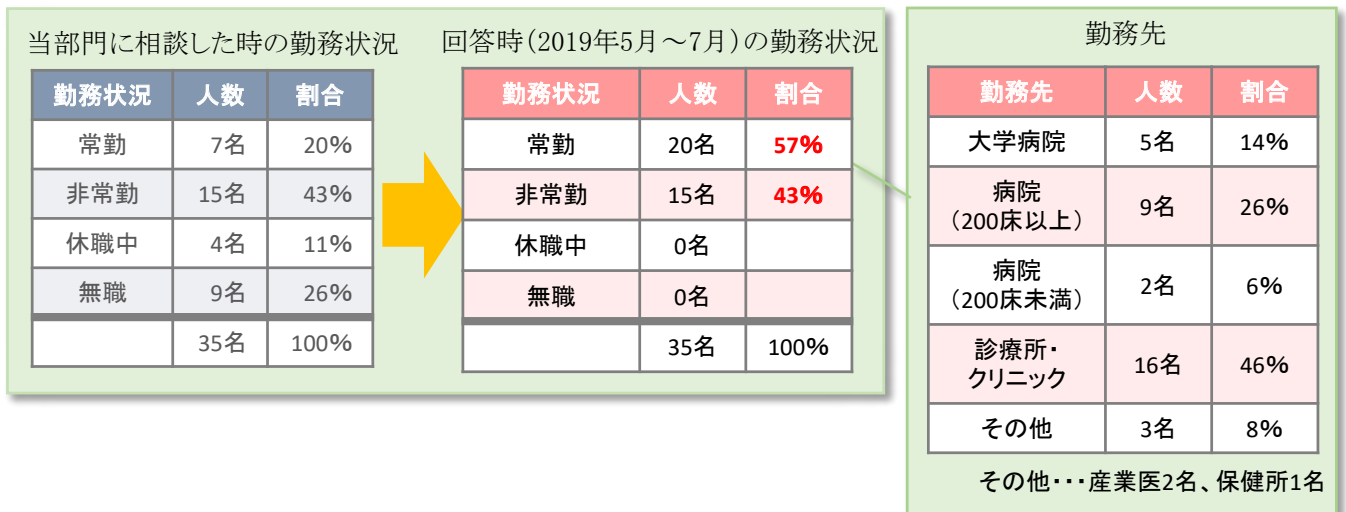
# 女性医師再研修部門

## 相談・研修後の状況調査

### 相談・研修後の状況調査アンケート

当部門に相談された方のその後を調査したアンケート結果です。  
 現在は無職と回答した人が**0人**であり、当部門への相談が、現在の勤務につながったとの回答が**72%**、  
 復職に役立つとの回答が**92%**となっていることから、再研修やキャリアカウンセリングなどの支援活動が  
 女性医師の復職に果たす役割は大きいものといえる。

※有効回答総数35件  
 (2019年5月～7月実施)



# 女性医師再研修部門

## 研修実施報告

令和1(2019)年度研修者(5名)の受入れを行った診療科及び学外施設

本院総合診療科、本院脳神経内科、  
成人医学センター、東京都立北療育医療センター

ご協力ありがとうございました。



部門長 石黒 直子

### 研修者概要、感想文(抜粋)

40代・子供なし・製薬会社勤務

研修先：本院総合診療科  
期間：2019年1月12日～2019年3月31日  
2019年6月1日～2019年8月31日

最初は不安でしたが、指導医の先生をはじめ、土曜日に外来担当の先生方には、電子カルテの操作方法のみならず、最新の治療法や、検査法についても大変丁寧にご教示いただきまして本当に勉強になりました。何より、非常に感銘を受けたのは、総合診療科の活発なdiscussionが自由にできる雰囲気でした。今後は少しずつではありますが、臨床に復帰し、研修させていただいたことを生かして診療に従事していきたいと思えます。

30代・子供2人・製薬会社勤務

研修先：東京都立北療育医療センター  
期間：2019年7月8日～2019年7月12日

今後の進路についてのご相談にも親身に乘ってください、(女性医療人キャリア形成センターでの面談でも感じたことですが)見ず知らずの私のことを本当に気にかけてくださって、感謝の気持ちでいっぱいになりました。1週間の予定とはわかっていただけでしたが、研修は毎日がとても充実していて、最終日には研修が終わってしまうのがとても悲しく、もっともっと研修していたかったと思いました。まず今回の研修で教えていただいたことを参考にしながら神経内科の学びを深めていきたいと思えます。

50代・子供なし  
・米国大学Associate Professor

研修先：本院総合診療科  
期間：2019年7月11日～2019年8月10日

総合診療内科では女性医師再研修プログラムで研修を積まれた先生方々ともお話しする機会があり、それぞれ異なる理由で臨床の場を離れた後に復帰を後押ししているこのプログラムの意義を改めて認識いたしました。私は東京女子医大出身でもありませんし、こちらに再就職するのもありませんのに、社会への還元というこのプロジェクトの恩恵を感じざるを得ません。今後、個々のニーズに合うフレキシブルなこのプログラムの意義はさらに高くなるのではないのでしょうか。

40代・子供2人  
・無職(シンガポールより帰国)

研修先：本院脳神経内科  
期間：2019年7月2日～2019年10月30日

復職にあたっては、知識や手技を再確認させていただくことができたことで精神的なストレスも少なかったのではないかと思います。ブランクが長いと復職後どうしても周囲の先生方に助けていただくことが多くなります。研修させていただいたことで自分で自信をもって行えることが増え、周囲の先生にご迷惑をかけてしまうという精神的な負担を少し軽減できたと思えます。

40代・子供2人  
・非常勤勤務(婦人科・内科)

研修先：成人医学センター  
期間：2019年8月20日～2019年11月15日

面談では、私の不安を聞いていただき、私に必要な研修を導いてくださり、週1回の外来見学という形で研修を行いました。成人医学センターでは、さまざまな科で先生方の外来診療を見学し、診断・治療について勉強させていただきました。先生方には外来でお忙しい中質問にも丁寧に答えてくださり、最近の知見なども教えていただき、疑問に思っていたことが研修を受けることに解消されていき、自信につながりました。また、先生方の患者さんとのコミュニケーションの取り方を拝見し、信頼される医療の大切さを改めて感じました。

# 看護職キャリア開発支援部門

*Sincerity and  
Compassion.*

看護職キャリア開発支援部門では  
看護師が充実した仕事と生活をおくることができるよう、  
あらゆるプロジェクトでサポートします

看護職のキャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して、看護職のキャリア支援システムの構築を目指して5つのプロジェクトで活動しています。

院内教育や各種委員会活動と連携しながら看護職者のニーズをキャッチし、一人ひとりの看護職者が生涯成長し続けるために役立つ内容を盛り込んだ活動をおこなっています。

## キャリア・メンタルヘルス相談プロジェクト

### キャリアカウンセリング

キャリアカウンセラーがキャリア上の問題を一緒に考えたり、キャリア開発の支援を行っています。

#### 令和1(2019)年度実績

◆キャリアカウンセリング	18件
◆メンタルヘルスカウンセリング	241件
◆メンタルヘルスの不調な看護師を支援する看護職者の相談	175件

### メンタルヘルスカウンセリング

本人のみならず、不調者を支える側のカウンセリングも実施しています。



## 自己学習支援プロジェクト

### 看護専門領域スキルアップ研修

専門領域における知識や技術を深め、日々の看護実践能力を向上します。

#### 令和1(2019)年度実績

- ◆全13領域、50研修を実施
- ◆年間のべ498名が研修参加



# 看護職キャリア開発支援部門

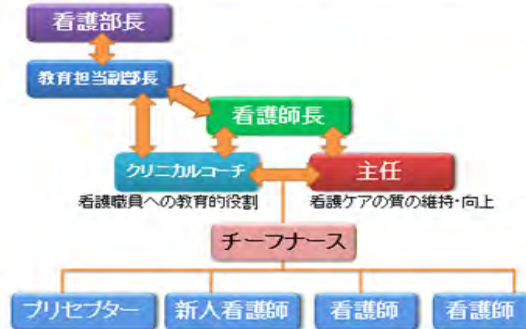
## 変革推進力育成プロジェクト

### ● クリニカルコーチ育成研修

クリニカルコーチは、部署において看護師長や主任と連携しながら教育的役割を担い、看護職や看護学生を支援しています。



### クリニカルコーチの位置づけ



### 令和1(2019)年度実績

- ◆ 第7期生(15名)の研修が修了
- ◆ 累計131名のクリニカルコーチを輩出

### ● 師長の変革推進能力向上支援

看護師長のキャリアアップと変革推進力を高めるための支援を行っています。

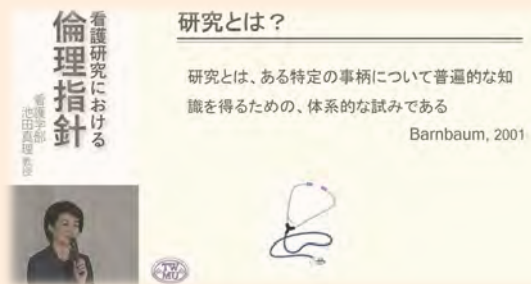


外部講師を招いて組織発展を目指す「対話」についての講義を行いました。

## 看護研究推進プロジェクト

看護部門(看護部・看護局)と看護基礎教育機関(看護学部・看護専門学校)による研究活動の連携を推進し、看護の実践、教育、研究の質の向上を図っています。

### ● 看護管理者(師長に限定しない)を対象としたセミナー・ワークショップ開催



### ● 「研究支援者ピアサポートの会」開催

看護学部教員をアドバイザーに交え、「研究支援者」に対するスーパーバイズや相談・サポートを行っています。

# 看護職キャリア開発支援部門

## はたらき方支援プロジェクト

### ライフイベント支援

妊娠・出産という女性にとって大きなライフイベントを迎えた方を対象に、ガイドブック「新しい家族を迎えるにあたって～ワーキングママ&パパを応援する本～」を配布しています。



目次	
1. 妊娠期間中、健やかに過ごすために	p. 1
2. 産休に入る前には・・・	p. 3
3. 出産前後に必要な手続き	p. 5
4. そろそろ復職	p. 7
5. 子育てに強い貴方に東京女子医科大学ができること	p. 9
子育て先輩看護師からのメッセージ	

### キャリア支援制度

休職をしないで育児、進学・介護と日常の看護業務を両立できる制度や、国外研修のための休職制度、さらにキャリアアップのための「在籍したまま進学できる制度」を設けています。

### 令和1(2019)年度実績

①短時間勤務	79名利用
②国外研修休職	3名利用
③進学休職	5名利用

① 看護職キャリア  
継続支援のための  
短時間勤務

② 看護職  
国外研修休職

③ 看護職  
進学休職

休職はせずに  
「育児」、「介護」、  
「進学」等をしたい！  
日常の看護業務と  
両立したい！

海外語学・看護研修、  
ワーキングホリデーで  
キャリアアップしたい！

在籍したまま進学したい！  
業務に必要な資格取得や  
看護知識・技術の  
ブラッシュアップをしたい！

# 看護職キャリア開発支援部門

## 認定看護管理者教育課程ファーストレベル

### 「認定看護管理者」とは

日本看護協会が主催している  
看護管理者研修としては  
現時点で唯一の系統的な研修

- 日本看護協会が推奨
- ◆看護主任はファーストレベル
  - ◆看護師長はセカンドレベル
  - ◆看護副部長・部長はサードレベル

本学は  
「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」  
の教育機関として日本看護協会より認定



### 令和1(2019)年度実績

- ◆令和1(2019)年6月8日～9月14日開講  
(18日間、106.5時間)
- ◆55名が受講し、全員修了  
(学内22名、学外33名)

### 研修風景

#### 講義



#### グループワークで検討、まとめ、発表



### 受講生の声

- 毎回、様々な講師の素晴らしい講義を受けられて、大変勉強になった。
- 他病院の方々の貴重な意見交換の場となった。皆が同じように悩んだり困っていることに共感し、多くの人と様々な思いを共有できたことが良かった。
- 自分の考え方や価値観が大きく変わって、本当に勉強になった。自分がいかに小さい世界の中で働いていたのかと痛感した。
- 色々な病院の師長、主任、メンバーと交流を持ち意見交換できたことは、一生の宝物だと思う。

# ダイバーシティ環境整備事業推進室



平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されました。

各部門と連携し、3つの柱を基盤として様々な取り組みを行っています。



## 【女性活躍推進法】

一般事業主行動計画

- 目標1: 女性教授割合を30%にする
- 目標2: 女性事務管理職割合を30%にする
- 目標3: 育児や介護関連制度等を周知し、  
利用しやすい職場環境や雰囲気づくりの  
推進
- 目標4: 臨床系教員及び医療練士研修生の短時間  
勤務の制度化・周知





# ダイバーシティ環境整備事業推進室

## 上位職への積極登用

### 教授就任: 6名

彌生塾やダイバーシティ環境整備事業推進室の取り組みもあり、2019年度は新たに6名の女性教授が誕生しました。

### 特命担当教授の任命: 1名

女性教員の上昇志向をさらに高め、上位職登用候補者であることを学内外に示すために特命担当教授を任命しています。

### 教員評価制度見直し

女性リーダー育成やダイバーシティ事業への協力度を評価項目に取り入れるため、評価制度の見直しを行っています。

### FDの実施

女性上位職登用に対する意識改革を促す目的で教授を対象に実施しているセミナーです。

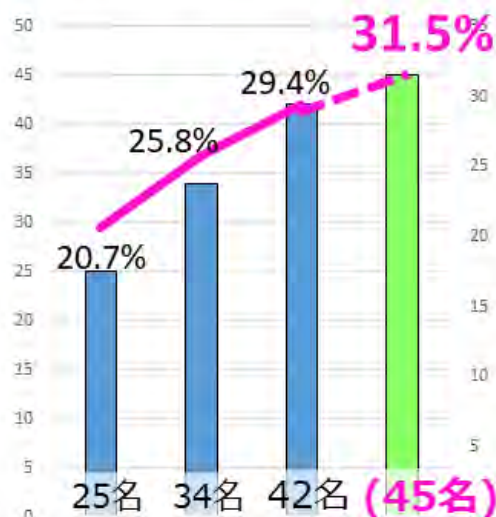
7月19日に大隅典子氏(東北大学)、9月20日に大島武氏(東京工芸大学芸術学部教授)を講師に迎え実施しました。



	R1.9 実数	R2定年 退職者	R3定年 退職者	R3年度末 (予想)*
女性	42名 (8)※	5名 (2)	1名 (1)	(45名)
男性	101	7	5	(139)
合計	143	12	6	(143)
女性割合	29.4%	-	-	(31.5%)

\* ( )内はR2,R3退職者の後席を男女半数ずつで埋めた場合の予想  
 ※ ( )内は内数、女性センター兼務・特命担当教授

## ＜女性教授数 実績および予想＞



# ダイバーシティ環境整備事業推進室

## 研究力の向上

### eラーニングコンテンツの作成: 4コンテンツ作成

- ①「彌生塾セミナー みんなちがってみんないい」大隅典子氏(東北大学 副学長)
- ②「医療者間のコミュニケーション～医療安全を考える～」加藤多津子氏(衛生学公衆衛生学 特命担当教授)
- ③「彌生塾講演会 仕事から学んだこと～医学・宇宙・研究～」向井千秋氏(東京理科大学 特任副学長)
- ④「2019ダイバーシティ環境整備事業報告会」本多祥子氏(ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長)

### 研究支援員制度(女性医師・研究者支援部門) → P.11

### 各種セミナー・講演会・ピアラーニング(女性医療人リーダー育成部門 ※旧彌生塾) → P.7～9



## 勤務環境の改善

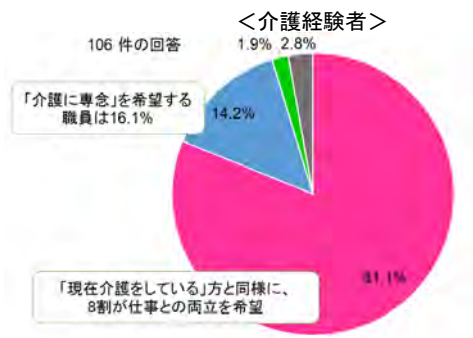
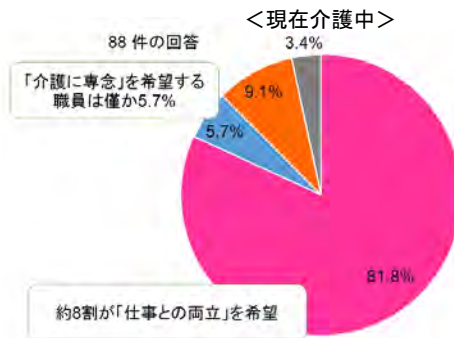
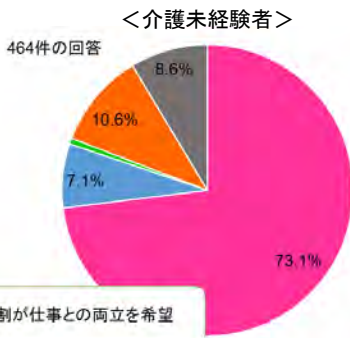
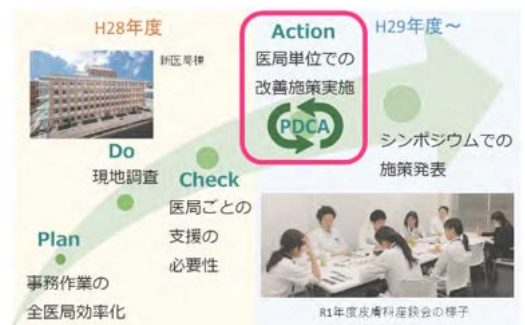
### 女性研究者が在籍する部局の勤務環境の改善

皮膚科・救急医学では働き方に関する座談会を実施し、改善取組に対して推進室が適宜支援を行っています

### 介護支援制度

介護に関するニーズ調査の為、本学全教職員を対象にWebアンケートを実施しました。来年度以降、新たな介護支援の策定を予定しています。

### 育児支援の充実(女性医師・研究者支援部門) → P.12



- 仕事を続けながら、適切な支援を受けて仕事と介護を両立していきたい
- 仕事は続けたいが、できれば介護に専念したい
- 仕事を辞めて、介護に専念したい
- 介護は家族や施設など周りにまかせて、仕事に専念したい
- わからない

# ダイバーシティ環境整備事業推進室

大分類	項目	平成28 (2016)年度	平成29 (2017)年度	平成30 (2018)年度	令和1 (2019)年度
上位職登用	プラスファクター	→			
	特命担当教授	→			
	規程作成・承認	→			
	任命		→		
	女性科開設 (現:女性センター)		→		
	教員評価見直し	→			
	評価項目作成・修正		→		
	システム導入・試行			→	
	ダイバーシティ講習会	→			
	ダイバーシティ講習会	→			
研究力向上	キャリア形成の個別支援	→			
	講演会・セミナー	→			
	ピアラーニング	→			
	情報交換会	→			
	教授との座談会		→		
	eラーニング配信	→			
	研究支援員制度			→	
勤務環境改善	勤務環境改善	→			
	事務効率化	→			
	医局座談会		→		
	育児支援	→			
	学生サポーター講習会		→		
	院内保育所連携			→	
	介護支援	→			
パンフレット作成・配布	→				
相談窓口		→			

10月3日(木)東京農工大学小金井キャンパスにおいて、「ダイバーシティ推進組織の運営体制と意識改革に関わる取組」をテーマに、全国ダイバーシティネットワーク組織2019年度第2回東京ブロック課題別ワークショップが開催されました。  
東京女子医科大学 本多祥子先生からは上位職への積極登用に向けた所属長意識改革、卒前・卒後のキャリア形成教育等、様々な具体的施策について講演しました。



(R1.10.3 東京ブロック ワークショップ)



幹事大学	
・東京農工大学	・東京大学
・お茶の水女子大学	
東京ブロック参画機関	
・東京医科歯科大学	・東京女子医科大学
・電気通信大学	・東京藝術大学
・津田塾大学	・東京海洋大学
・東京理科大学	・実践女子大学
・宇宙航空研究開発機構	・実践女子大学短期大学部
・東京女子大学	・首都圏産業適性化協会
・東京外国語大学	・首都大学東京
・東洋大学	・拓殖大学
・東京学芸大学	・日本女子大学
・国際基督教大学	・早稲田大学
・東京医科大学	・調天堂大学
・帝京大学	・東海大学
・吉村大学	・東邦大学
・東京工業大学	・日本大学
・法政大学	・情報・システム研究機構
・東京都市大学	・日本医科大学

東京ブロック ホームページ  
<http://tokyo-diversity.jp>

# 活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)  
 支・・・女性医師・研究者支援部門 再・・・女性医師再研修部門  
 看・・・看護職キャリア開発支援部門  
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
4月1日	2019年度研究支援員制度開始		★			★
4月16日	ファミリーサポート調整会議		★			
4月17日	第31回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
4月23日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
4月25日	第12回認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会				★	
4月26日	女性医師再研修部門定例会			★		
5月21日	ファミリーサポート調整会議		★			
5月22日	第7期第5回クリニカルコーチ研修				★	
5月28日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	第32回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
6月1日	女性医師・研究者支援シンポジウム2019		★			★
6月5日	英語セミナーVol.1「研究と出版における倫理」開催 (カクタス・コミュニケーションズ株式会社 Daivid Kipler先生)	★				★
	第18期保育サービス講習会		★			★
6月8日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル開校式				★	
6月18日	英語セミナーVol.2「英語論文の表現・サイエンスライティングにおける文法構造」開催 (カクタス・コミュニケーションズ株式会社 Daivid Kipler先生)	★				★
6月25日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	第33回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
7月5日	英語セミナーVol.3「研究論文の執筆と修正のコツと基本原則」開催 (カクタス・コミュニケーションズ株式会社 Daivid Kipler先生)	★				★
7月19日	ダイバーシティ講習会「〈無意識のバイアス〉に気づくこと」 (医学部教授会FD内)					★
	彌生塾セミナー「みんなちがってみんないい」開催 (東北大学副学長 大隅典子先生)	★				★
7月20日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座 (公益社団法人日本看護協会 福井トシ子会長)				★	

# 活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)  
 支・・・女性医師・研究者支援部門 再・・・女性医師再研修部門  
 看・・・看護職キャリア開発支援部門  
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
7月22日	第34回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
7月23日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	女子中高生の理系進路選択支援プログラム第1回開催		★			
	ファミリーサポート調整会議		★			
7月26日	第7期第6回クリニカルコーチ研修				★	
8月2日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム第2回開催		★			
8月5日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム第3回開催		★			
8月21日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム第4回開催		★			
8月23日	女性医師再研修部門定例会			★		
	第35回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
9月5日	女性医師・研究者支援部門運営委員会		★			
9月6日	英語セミナーVol.4「効果的な英語研究プレゼンテーションワークショップ」開催 (カクタス・コミュニケーションズ株式会社 Daivid Kipler先生)	★				★
9月10日	ファミリーサポート調整会議		★			
9月20日	ダイバーシティ講習会「スタッフを動かすコミュニケーション技術」 (医学部教授会FD内)					★
	彌生塾セミナー・クリニカルコーチ特別講演会 「コミュニケーションの再考セミナー」開催 (東京工芸大学 芸術学部 教授 大島武先生)	★			★	★
9月24日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	第36回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
9月26日	第13回認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会				★	
10月5日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム第5回開催		★			
10月8日	ファミリーサポート運営委員会		★			
	ファミリーサポート調整会議		★			

# 活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)  
 支・・・女性医師・研究者支援部門 再・・・女性医師再研修部門  
 看・・・看護職キャリア開発支援部門  
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
10月9日	第7期第1回クリニカルコーチフォローアップ研修				★	
10月10日	「彌生塾セミナー みんなちがってみんないい」e-ラーニング公開	★				
10月23日	第12回ピアラーニング	★				★
10月25日	女性医師再研修部門定例会			★		
10月26日	ファミリーサポート全体交流会		★			
10月28日	第37回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
10月29日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	彌生塾セミナー「臨床研究の初学者のための統計の基本～医療系データの分析入門～」開催 (東京医科大学 公衆衛生学分野 講師 福島教照先生)	★				★
11月5日	第19期保育サービス講習会(全30時間)		★			
11月12日	第14回認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会				★	
11月19日	彌生塾セミナー「リーダーシップを発揮するためのタイムマネジメント」開催(日本能率協会総合研究所)	★				★
11月22日	第38回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
11月26日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
12月7日	彌生塾セミナー「リーダーとは？」開催 (東京理科大学 特任副学長 向井千秋先生)	★				★
	彌生塾講演会・ダイバーシティ環境整備事業報告会 「仕事から学んだこと～医師、宇宙飛行士、教師～」 (東京理科大学 特任副学長 向井千秋先生)	★				★
12月16日	第7期第2回クリニカルコーチフォローアップ研修				★	
12月24日	「患者安全とチーム医療」e-ラーニング公開					★
	第29回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
12月26日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム第6回開催		★			
1月14日	研究支援員制度 審査		★			★
1月16日	第13回ピアラーニング	★				★

# 活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門(旧彌生塾)  
 支・・・女性医師・研究者支援部門 再・・・女性医師再研修部門  
 看・・・看護職キャリア開発支援部門  
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
1月24日	女性医師再研修部門定例会			★		
1月27日	第40回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
1月28日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	ファミリーサポート調整会議		★			
1月31日	彌生塾セミナー「リーダーシップセミナー」開催 (東京女子医科大学 学長 丸義朗先生)	★				★
2月17日	女性医師・研究者支援部門運営委員会		★			
	女性医師再研修部門運営委員会			★		
2月18日	ファミリーサポート後期スキルアップ研修会		★			
2月25日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	ファミリーサポート調整会議		★			
2月28日	第41回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
3月6日	第15回認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会				★	
3月16日	彌生塾運営委員会	★				
3月24日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会				★	
	ファミリーサポート調整会議	★				
	第42回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★

# 業績一覧

支援を受けた女性医師・研究者の業績一覧です。

## 学会発表

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
新井田素子、渡部和彦、山本智子、加藤陽一郎、柴田亮行	一般講演	ポスター	第108回日本病理学会総会	筋萎縮性硬化症 (ALS) におけるアストロサイト増殖性に関する検討 Proliferation of cultured astrocytes carrying ALS-related mutant SOD1	東京	2019/5/10
堀沙耶香	招待講演	口頭	女性医師・研究者支援シンポジウム2019	逃避行動様式の決定に関する分子遺伝学的研究	東京	2019/6/1
Norina Tanaka, Yan-Hua Wang, Masayuki Shiseki, Jurji Tanaka	一般講演	ポスター	The 24th Congress of the European Hematology Association	CLINICAL SIGNIFICANCE OF KIR GENOTYPE IN JAPANESE PATIENTS WITH MYELODYSPLASTIC SYNDROME	Amsterdam	2019/6/13~6/19
Mari Matsuo, Naoko Iwasaki, Toru Kusakabe, Kayoko Sato, Gen Nishimura, Kayoko Saito	一般講演	ポスター	The European Human Genetics Conference	Progeroid syndrome with focal segmental glomerulosclerosis due to ZMPSTE24 Mutations	Sweden	2019/6/16
佐藤加代子	シンポジウム	口頭	IL-17A summit -Aim for comprehensive treatment-	動脈硬化進展と腎障害におけるIL-17の役割	東京	2019/7/7
佐藤加代子	シンポジウム	口頭	第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会	男女共同参画委員会企画 第2回アンケート集計結果	京都	2019/7/12
Hidenori Arai, Junya Aka, Atsushi Hirayama, Atsushi Nohara, Kayoko Sato, Mariko Harada-Shiba, Yusuke Naito, Asuka Ozaki, and Masato Nakamura	シンポジウム	口頭	第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Comparison of the Diagnosis Criteria for Familial Hypercholesterolemia in Japanese Patients with Acute Coronary Syndrome: EXPLORE-J Study	京都	2019/7/13
堀沙耶香、三谷昌平	一般講演	口頭	第41回日本神経科学大会	Forkhead box transcription factors determine pre-synaptic specificity and synaptic transmission efficiency of a strength-dependent sensory processing circuit	神戸	2019/7/25
関口治樹, 野村費秀仁, 今村康崇, 佐藤加代子, 萩原誠久	一般講演	ポスター	第67回日本心臓病学会学術集会	レパーサペンにて胃腸障害を認めたが、オートミドーザに変更後、経過良好であったハイリスク家族性高コレステロール血症の例	名古屋	2019/9/13
泊江里奈, 坂井晶子, 関口治樹, 長尾充展, 佐藤加代子, 坂井修二, 萩原誠久	一般講演	口頭	第67回日本心臓病学会学術集会	家族性高コレステロール血症における、心血管病変既往の有無と大動脈弁石灰化、脂質プロファイルとの関連性。	名古屋	2019/9/14
新井田素子、渡部和彦、山本智子、柴田亮行	一般講演	ポスター	第41回神経組織培養研究会	Characterization of astrocytes associated with Amyotrophic lateral sclerosis (ALS)	東京	2019/11/16
Akiko Sakai, Kayoko Sato, Haruki Sekiguchi, Michinobu Nagao, Syuji Sakai, Nobuhisa Hagiwara	一般講演	ポスター	2019 Scientific Session of American Heart Association	Aortic Valve Calcification and Subclinical Coronary Atherosclerosis in Japanese Heterozygous Familial Hypercholesterolemia Patients with high LP(a) levels.	Philadelphia	2019/11/17



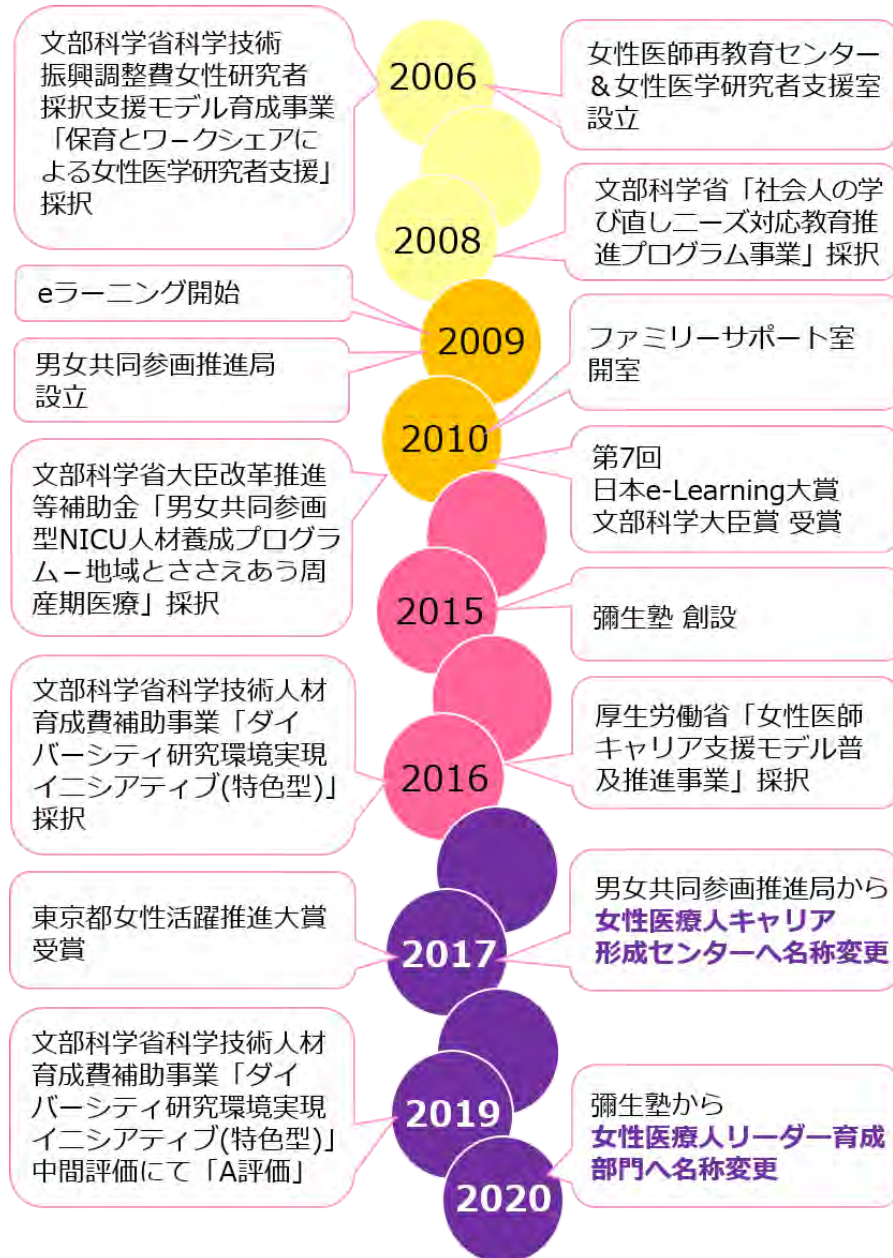
## 学会発表

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
<b>Kayoko Sato,</b> Hidekimi Nomura, Yasutaka Imamura, Shonosuke Watanabe, Akiko Sakai, Haruki Sekiguchi, Nobuhisa Hagiwara	一般講演	ポスター	第48回日本免疫学会 学術集会	Activation of Effector Memory and Effector T Cells in Patients with Familial Hypercholesterolemia	浜松	2019/12/11
佐藤加代子	シンポジウム	口頭	第27回日本血管生 物医学会学術集会	家族性高コレステロール血症に おける心血管疾患発症の新たな リスク	神戸	2019/12/11
佐藤加代子	シンポジウム	口頭	脳心血管抵抗加齢 研究会2019 (第16回学術大会)	PSGL-1-expressing leucocytes contribute the atherosclerotic plaque instability	東京	2019/12/21
佐藤加代子	教育講演	口頭	動脈硬化学会 第20回 動脈硬化教育フォーラ ム	高LDLコレステロール血症-冠動脈 疾患にならないために	東京	2020/2/2

## 論文

著者名	タイトル	誌名
佐藤加代子	シリーズ「性差医療」(4)循環器領域, 3.循環器疾患における 性差	東京女子医科大学雑誌 89(4), 73-82, 2019
佐藤加代子	(生涯教育シリーズ97)「動脈硬化診療のすべて」第III章動脈 硬化を識るB.危険因子・関連疾患とその予防・治療, 1 脂質 異常症 a)高LDL-C血症	日本医師会雑誌 第148巻・特別号(2), S84-S88, 2019
佐藤加代子	T細胞におけるDipeptidyl peptidase 4 (DPP4)シグナルは動脈 硬化進展と足細胞フットプロセス異常によるアルブミン尿に関 与する	M.P, 36(1) 97-100, 2019
佐藤加代子	脂質異常症-新たな時代に入った脂質異常症治療をふまえて-家族性高コレステロール血症を見落とさないために, 1 脂質異常症	M.P, 36(1) 97-100, 2019
Shinohara A, Osanai S, Izuka Y, Ryuzaki M, Watanabe A, <b>Tanaka N,</b> Ishiyama M, Kazama H, Hagiwara S, Yoshinaga K, Shiseki M, Tanaka J.	Herpes zoster after autologous haematopoietic stem cell transplantation without antiviral prophylaxis.	Br J Haematol. 2019 Jun 25. doi: 10.1111/bjh. 1607
<b>Nida-Kawaguchi Motoko,</b> Kakita Akiyoshi, Noguchi Noriko, Kazama Miku, Masui Kenta, Kato Yoichiro, Yamamoto Tomoko, Sawada Tatsuo, Kitagawa Kazuo, Watabe Kazuhiko, Shibata Noriyuki*	Soluble iron accumulation induces microglial glutamate release in the spinal cord of sporadic amyotrophic lateral sclerosis	NEUROPATHOLOGY Dec 28 2019doi:10.1111/neup.12632

# 女性医療人キャリア形成センターのあゆみ



# 女性医療人キャリア形成センター基金

女性医療人キャリア形成センター基金につきましては、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。これからの社会において多くの女性医療人たちが活躍できるよう、深いご理解とご関心をお寄せくださる皆様から賜りましたご芳志を深謝するとともに重ねて心からお礼申し上げます。

● **ご寄付合計額** 3,600,000円 (2019年度)

## ● **ご芳名一覧(五十音順)**

関東化学株式会社 様 吉永 花子 様 肥塚 直美 様 匿名3名

## ● **募集要項**

- **目的**……女性医療人の勤務継続支援および医療人としてのキャリア形成とリーダーシップ育成を行うための経費
- **目標額**……3億円
- **対象**……法人:1口の金額を特に定めておりません。  
個人:1口2万円(多数のご支援をいただけますと幸いです。)

※申込方法、振込方法、免税措置(企業等法人、個人)など、寄付に関する詳細につきましては、裏表紙に記載のセンター事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

女性医療人キャリア形成センター  
Annual Report 2019

---

発行 令和2(2020)年8月  
編集 女性医療人キャリア形成センター  
MAIL [cdc\\_bm@twmu.ac.jp](mailto:cdc_bm@twmu.ac.jp)  
URL <http://www.twmu.ac.jp/gender/>



東京女子医科大学  
女性医療人キャリア形成センター

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1  
TEL:03-3353-8112(内線41382) FAX:03-3353-6793  
MAIL:cdc.bm@twmu.ac.jp